

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年4月2日(2015.4.2)

【公開番号】特開2012-232115(P2012-232115A)

【公開日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-050

【出願番号】特願2012-96054(P2012-96054)

【国際特許分類】

A 6 3 B 55/57 (2015.01)

【F I】

A 6 3 B 55/06

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月13日(2015.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部プラケット側と外部プラケット側の反対側に位置する内部プラケット側とを備える  
プラケット壁と、

　　プラケット壁の外部プラケット側に隣接する第1のドックと、  
を備えるプラケットと、

　　第1のドックとヒンジ結合される第1のヒンジ部材と、を備え、

　　第1のヒンジ部材は、

　　第1の上端部と、

　　第1の上端部の反対側に位置する第1の底端部と、

　　第1の上端部と第1の底端部との間に伸びる第1の側壁と、

　　第1の上端部に位置し、停止部を備える第1の突出部と、

　　第1の側壁によって画定される第1の穴と、を備え、

　　第1の軸線は、第1の突出部の中心及び第1の上端部と第1の底端部との間を通って伸びており、

　　第1のドックは、プラケット壁の外部プラケット側に伸びる第1の切欠きを備え、

　　ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合、

　　収納角度は、第1の軸線とプラケット壁との間に存在し、

　　第1の突出部は、第1の切欠きから離間され、

　　ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、

　　収納角度よりも大きな伸張角度は、第1の軸線とプラケット壁の間に存在し、

　　第1の突出部の停止部は、第1の切欠きに受容される、ゴルフバッグ支持機構。

【請求項2】

　　第1の穴は、第1の底端部から第1の上端部に向かって伸びており、

　　第1の穴は、第1の軸線を中心に配置され、

　　第1の突出部は、第1のヒンジ部材の第1の上端部の中心に配置され、

　　プラケットは、内部プラケット側がゴルフバッグに対向するように、ゴルフバッグの上部バッグ部分に結合される、請求項1に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項3】

　　プラケットは、ゴルフバッグの上部バッグ部分に結合され、

プラケット壁は、上部バッグ部分のバッグ側壁に結合され、かつ、実質的に平行に位置する、請求項1又は2に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項4】

第1のヒンジ部材の第1の穴は、第1の支持脚の第1の端部を受容し、ゴルフバッグ支持機構が、バッグ側壁に結合され、第1の支持脚の第1の端部が第1のヒンジ部材の第1の穴内に受容され、ゴルフバッグの底部及び第1の支持脚の第2の端部が支持面上に支持されている間に、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、

第1の突出部の停止部は、第1の切欠きをプラケット壁に沿う方向に押す、請求項3に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項5】

第1の切欠きは、プラケット壁を、プラケット壁の外部プラケット側から内部プラケット側まで完全に貫通して伸びてあり、

ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、第1の突出部の少なくとも一部は、第1の切欠きを、プラケット壁の内部プラケット側からプラケット壁の外部プラケット側まで通って伸びる、請求項1から4のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項6】

第1の突出部は、真直な橜円形又は橜円形のうちの1つからなる、請求項1から5のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項7】

第1の突出部の停止部は、曲面状に形成されており、

第1の切欠きの底部は、第1の突出部の停止部に適合するように曲面状に形成されている、請求項1から6のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項8】

第1のヒンジ部材を第1のドックにヒンジで留める第1のクレビスピンドルをさらに備え、

第1のドックは、

第1の切欠きを備える第1の後壁と、

第1の後壁に実質的に垂直であり、第1の後壁の両端に結合される第1及び第2の耳部と、を備え、

第1の耳部は、第1の耳孔を備え、

第2の耳部は、第2の耳孔を備え、

第1のヒンジ部材は、

第1の側壁の第1の側壁端部であって、第1のヒンジ孔を備える第1の側壁端部と、

第1の側壁端部の反対側に位置する第1の側壁の第2の側壁端部であって、第2のヒンジ孔を備える第2の側壁端部と、を備え、

第1のクレビスピンドルは、第1のヒンジ部材を第1のドックとヒンジで留めるために、第1のヒンジ部材のヒンジ軸線に沿って、ヒンジ位置に挿入可能であり、

ヒンジ位置は、第1の耳孔と、第1のヒンジ孔と、第1の穴と、第2のヒンジ孔と、第2の耳孔内の第1のクレビスピンドルを備える、請求項1から7のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項9】

第1のヒンジ部材は、

第1の側壁端部と第2の側壁端部との間に位置する第1の側壁の第3の側壁端部と、

第1の側壁端部と第2の側壁端部との間に位置し、第3の側壁端部の反対側に位置する、第1の側壁の第4の側壁端部と、を備え、

第1の突出部は、

第3の側壁端部の方に対向する第1の突出部端部と、

第4の側壁端部の方に対向する第2の突出部端部と、を備え、

第1の突出部端部と第2の突出部端部とは、ヒンジ軸線を基準に、実質的に互いに対称であり、

第1のヒンジ部材は、

ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合に、第3の側壁端部が第1のドックの第1の後壁に対向し、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合に、第1の突出部端部が第1の切欠きに係合する、第1の向き、又は、

ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合に、第4の側壁端部が第1のドックの第1の後壁に対向し、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合に、第2の突出部端部が第1の切欠きに係合する、第2の向き

のいずれかの向きで第1のドック内に挿入可能である、請求項8に記載のゴルフバッグ支持機構。

#### 【請求項10】

第1のクレビスピニは、

クレビスピニ頭部を備える頭部端部部分と、

クレビスピニがヒンジ位置にある場合、第2の耳孔から突出する挿入端部部分と、を備え、

挿入端部部分には、保持機構が設けられておらず、

挿入端部部分の最大厚さは、第1及び第2の耳孔、並びに、第1及び第2のヒンジ孔のそれぞれの孔寸法に適合する、請求項8又は9に記載のゴルフバッグ支持機構。

#### 【請求項11】

第1のヒンジ部材の第1の穴の内側端部は、内側端部から突出している第1及び第2の指部を備え、

第1のクレビスピニは、頭部端部部分と挿入端部部分との間に、第1のクレビスピニを少なくとも部分的に囲む第1の溝を備え、

第1の指部と第2の指部との間の距離は、

第1の溝における第1のクレビスピニの厚さと適合しており、

第1の溝の両側に隣接する第1のクレビスピニの厚さよりも薄く、

そして、

第1のクレビスピニがヒンジ位置から滑り落ちることを抑制するために、第1のクレビスピニがヒンジ位置にある場合、第1及び第2の指部は、第1の溝の両側に位置する、請求項10に記載のゴルフバッグ支持機構。

#### 【請求項12】

伸張角度は、約40度から約60度までの間で構成される、請求項1から11のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

#### 【請求項13】

プラケット壁は、第1のドックの反対側であって、かつ、プラケット壁の内部プラケット側に位置する1個以上の補強リブを備え、

1個以上の補強リブのうちの少なくとも第1のリブは、第1の切欠きの底部の下、及び、隣接して位置する、請求項1から12のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

#### 【請求項14】

第1のドックは、

第1の切欠きを備える第1の後壁と、

第1の後壁に実質的に垂直であって、第1の後壁の両側に結合される第1及び第2の耳部と、を備え、

プラケットは、

プラケット壁の上部縁端と、第1のドックの第1及び第2の耳部の上部縁端上方に結合される上部壁であって、プラケット壁から外側に伸びており、かつ、実質的に平行でない上部壁と、をさらに備え、

少なくともゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、第1のヒンジ部材は、上部壁から完全に離間する、請求項1から13のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

#### 【請求項15】

第2のヒンジ部材をさらに備え、

第2のヒンジ部材は、

第 2 のヒンジ部材の第 2 の上端部に位置する第 2 の突出部と、

第 2 の突出部の中心を通って伸びる第 2 の軸線と、を備え、

プラケットは、プラケット壁の外部プラケット側に隣接する第 2 のドックをさらに備え

、  
第 2 のヒンジ部材は、第 2 のドックとヒンジ式に結合され、

ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合、

第 2 の収納角度は、第 2 の軸線とプラケット壁との間に存在し、

ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、

第 2 の収納角度よりも大きな第 2 の伸張角度は、第 2 の軸線とプラケット壁の間に存在し、

第 2 の収納角度は、収納角度に一致し、

第 2 の伸張角度は、伸張角度に一致する、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

#### 【請求項 16】

ゴルフバッグ支持機構を提供するための方法であって、

外部プラケット側と外部プラケット側の反対側に位置する内部プラケット側とを備えるプラケット壁と、

プラケット壁の外部プラケット側に隣接する第 1 のドックであって、プラケット壁の外部プラケット側に伸びる第 1 の切欠きを備える第 1 のドックと、

を備えるプラケットを設けるステップと、

第 1 のドックにヒンジ式に結合される第 1 のヒンジ部材を設けるステップと、を備え、  
第 1 のヒンジ部材を設けるステップは、

第 1 の上端部を設けるステップと、

第 1 の上端部の反対側に位置する第 1 の底端部を設けるステップと、

第 1 の上端部と第 1 の底端部との間に伸びる第 1 の側壁を設けるステップと、

第 1 の上端部にあり、停止部を備える第 1 の突出部を設けるステップと、

第 1 の側壁によって画定される第 1 の穴を設けるステップと、を備え、

第 1 の軸線は、第 1 の突出部の中心及び第 1 の上端部と第 1 の底端部との間を通り伸びており、

ゴルフバッグ支持機構は、

収納角度が第 1 の軸線とプラケット壁の間に存在し、

第 1 の突出部が第 1 の切欠きから離間される場合に、収納状態に移行可能であり、

ゴルフバッグ支持機構は、

収納角度よりも大きな伸張角度が第 1 の軸線とプラケット壁との間に存在し、

第 1 の突出部の停止部が第 1 の切欠きに受容される場合に、伸張状態に移行可能である、方法。

#### 【請求項 17】

第 1 のヒンジ部材を第 1 のドックにヒンジで留める第 1 のクレビスピンドルを設けるステップをさらに備え、

第 1 の穴を設けるステップは、

第 1 の底端部から第 1 の上端部に向かって伸びており、かつ、第 1 の軸線を中心に配置される、第 1 の穴を設けるステップを備え、

第 1 の突出部を設けるステップは、

第 1 のヒンジ部材の第 1 の上端部の中心に配置される第 1 の突出部を設けるステップと、

曲面状の第 1 の突出部の停止部を設けるステップと、を備え、

停止部は、

第 1 の突出部の第 1 の突出部端部と、

第 1 の突出部の第 2 の突出部端部であって、第 1 の突出部端部の反対側に位置する、第 2 の突出部端部と、のうちの 1 個を備え、

プラケットを設けるステップは、

ゴルフバッグのバッグ側壁と結合され、かつ、実質的に平行位置するプラケット壁を構成するステップと、

プラケット壁の外部プラケット側から内部プラケット側までプラケット壁を完全に貫通して伸びる第1の切欠きを設けるステップと、

第1の突出部の停止部に適合するように曲面状に形成されている、第1の切欠きの底部を設けるステップと、を備え、

第1のドックを設けるステップにおいて、

第1のドックは、

第1の切欠きを備える第1の後壁と、

第1の後壁に実質的に垂直であり、第1の後壁の両端に結合される第1及び第2の耳部と、を備え、

第1の耳部は、第1の耳孔を備え、

第2の耳部は、第2の耳孔を備え、

第1のヒンジ部材を設けるステップは、

第1の側壁の第1の側壁端部を設けるステップであって、第1のヒンジ孔を備える第1の側壁端部を設けるステップと、

第1の側壁端部の反対側に位置する第1の側壁の第2の側壁端部を設けるステップであって、第2のヒンジ孔を備える第2の側壁端部を設けるステップと、

第1の側壁端部と第2の側壁端部との間に位置し、第1の突出部の第1の突出部端部の方に向かって配置される、第1の側壁の第3の側壁端部を設けるステップと、

第1の側壁端部と第2の側壁端部との間に位置し、第1の突出部の第2の突出部端部の方に向かって配置される、第1の側壁の第4の側壁端部を設けるステップと、を備え、

第1のクレビスピンドルを設けるステップは、

第1のヒンジ部材を第1のドックとヒンジで留めるために、第1のクレビスピンドルを、第1のヒンジ部材のヒンジ軸線に沿ってヒンジ位置に挿入可能に構成するステップを備え、

ヒンジ位置は、第1の耳孔内に挿入され、第1のヒンジ孔と、第1の穴と、第2のヒンジ孔とを通って、第2の耳孔から出る第1のクレビスピンドルを備え、

第1のヒンジ部材は、

ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合に、第3の側壁端部が第1のドックの第1の後壁に対向し、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合に、第1の突出部端部が第1の切欠きに係合する、第1の向き、又は、

ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合に、第4の側壁端部が第1のドックの第1の後壁に面し、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合に、第2の突出部端部が第1の切欠きに係合する、第2の向き

のいずれかの向きで第1のドック内に挿入可能である、請求項16に記載の方法。

#### 【請求項18】

第2のヒンジ部材の第2の上端部に位置する第2の突出部と、

第2の突出部の中心を通じて伸びる第2の軸線と、を備える、第2のヒンジ部材を設けるステップを、さらに備え、

第1の突出部を設けるステップは、

第1の突出部を真直な橢円形又は橢円形のうちの1つで設けるステップを備え、

プラケットを設けるステップは、

第2のヒンジ部材をヒンジ式に受容するために、プラケット壁の外部プラケット側に隣接する第2のドックを設けるステップをさらに備え、

第1のクレビスピンドルを設けるステップは、

クレビスピンドルを供える頭部端部部分を設けるステップと、

クレビスピンドルがヒンジ位置にある場合、第2の耳孔から突出する挿入端部部分を設けるステップと、を備え、

挿入端部部分には、保持機構が設けられておらず、  
挿入端部部分の最大厚さは、第1及び第2の耳孔、並びに、第1及び第2のヒンジ孔のそれぞれの孔寸法に適合しており、

ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合、

収納角度に一致する第2の収納角度は、第2の軸線とプラケット壁との間に存在し、  
ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、

伸張角度に一致し、かつ、第2の収納角度よりも大きな第2の伸張角度は、第2の軸線とプラケット壁との間に存在し、

ゴルフバッグ支持機構がバッグ側壁に結合され、第1の支持脚の第1の端部が第1のヒンジ部材の第1の穴内に受容され、ゴルフバッグの底部及び第1の支持脚の第2の端部がゴルフバッグを支持面上に支持されている間に、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、

第1の突出部の停止部は、第1の切欠きをプラケット壁に沿う方向に押す、請求項17に記載の方法。

【請求項19】

バッグ側壁と、

第1及び第2の支持脚と、

プラケットであって、

外部プラケット側と、外部プラケット側の反対側に位置する内部プラケット側と、を有するプラケット壁であって、バッグ側壁に結合され、かつ、実質的に位置するプラケット壁と、

プラケット壁の外部プラケット側に位置する第1のドックであって、プラケット壁の外部プラケット側に伸びる第1の切欠きを備える、第1のドックと、

プラケット壁の外部プラケット側に位置する第2のドックであって、プラケット壁の外部プラケット側に伸びる第2の切欠きを備える、第2のドックと、を備える、プラケットと、

第1及び第2のクレビスピンドルと、

第1のクレビスピンドルによって、第1のドックにヒンジ式に結合される第1のヒンジ部材と、

第2のクレビスピンドルによって、第2のドックにヒンジ式に結合される第2のヒンジ部材と、を備え、

第1のヒンジ部材は、

第1の上端部と、

第1の上端部の反対側に位置する第1の底端部と、

第1の上端部の中心に配置され、停止部を備える第1の突出部であって、

停止部は、曲面状に形成されており、かつ、

第1の突出部の第1の突出部端部と、

第1の突出部の第2の突出部端部であって、第1の突出部端部の反対側に位置する第2の突出部端部と、

のうちの1つを備える、第1の突出部と、

第1の上端部と第1の底端部との間に伸びる第1の側壁であって、

第1の側壁は、

第1のヒンジ孔を備える第1の側壁端部と、

第1の側壁端部の反対側に位置する第2の側壁端部であって、第2のヒンジ孔を備える第2の側壁端部と、

第1の側壁端部と第2の側壁端部との間、及び、第1の突出部の第1の突出部端部の方に向かって配置される第3の側壁端部と、

第1の側壁端部と第2の側壁端部との間、及び、第1の突出部の第2の突出部端部の方に向かって配置される第4の側壁端部と、を備える、第1の側壁と、

第1の突出部の中心、及び、第1の上端部と第1の底端部との間を通って伸びる第1の

軸線と、

第1の底端部から第1の上端部に向かって伸びてあり、かつ、第1の軸線を中心に配置される、第1の側壁によって画定される第1の穴と、

第1のドックは、

第1の切欠きを備える第1の後壁と、

第1の後壁に実質的に垂直に、かつ、第1の後壁の両端に結合される第1及び第2の耳部と、を備え、

第1の耳部は、第1の耳孔を備え、

第2の耳部は、第2の耳孔を備え、

第1のクラビスピンドルは、第1のヒンジ部材を第1のドックとヒンジで留めるために、第1のヒンジ部材のヒンジ軸線に沿って、ヒンジ位置に挿入可能であり、

ヒンジ位置は、第1の耳孔と、第1のヒンジ孔と、第1の穴と、第2のヒンジ孔と、第2の耳孔内の第1のクラビスピンドルを備え、

第1の切欠きの底部は、第1の突出部の停止部と適合するように曲面状に形成されており、

ゴルフバッグは、

収納角度が第1の軸線とプラケット壁との間に存在し、

第1の突出部が第1の切欠きから離間される場合に、収納状態に移行可能であり、

ゴルフバッグは、

収納角度よりも大きな伸張角度が第1の軸線とプラケット壁の間に存在し、

第1の突出部の停止部が第1の切欠きに受容される場合に、伸張状態に移行可能であり、

第1のヒンジ部材は、

ゴルフバッグが収納状態にある場合に、第3の側壁端部が第1のドックの第1の後壁に対向し、ゴルフバッグが伸張状態にある場合に、第1の突出部端部が第1の切欠きに係合する、第1の向き、又は

ゴルフバッグが収納状態にある場合に、第4の側壁端部が第1のドックの第1の後壁に対向し、ゴルフバッグが伸張状態にある場合に、第2の突出部端部が第1の切欠きに係合する、第2の向き、

のいずれかで第1のドックに取り付け可能である、ゴルフバッグ。

#### 【請求項 20】

第1の突出部は、真直な楕円形又は楕円形のうちの1つからなり、

第1のクラビスピンドルは、

クラビスピンドル頭部を備える第1の頭部端部部分と、

クラビスピンドルがヒンジ位置にある場合、第2の耳孔から突出する挿入端部部分と、を備え、

挿入端部部分には、コッタピン係合機構がなく、

挿入端部部分の最大厚さは、第1及び第2の耳孔並びに第1及び第2のヒンジ孔のそれぞれの孔寸法に適合しており、

ゴルフバッグがバッグ側壁に結合され、第1の支持脚の第1の端部が、第1のヒンジ部材の第1の穴内に受容され、ゴルフバッグの底部および第1の支持脚の第2の端部がゴルフバッグを支持面上に支持している間に、ゴルフバッグが伸張状態にある場合、

第1の突出部の停止部は、第1の切欠きをプラケット壁に実質的に平行する方向に押す、請求項19に記載のゴルフバッグ。